

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-118006

(43)Date of publication of application : 27.04.2001

(51)Int.Cl. G06F 17/60
G06F 3/00
G06F 13/00
G06F 17/30

(21)Application number : 2000-171644 (71)Applicant : YUU UN YAN

(22)Date of filing : 08.06.2000 (72)Inventor : YUU UN YAN

(30)Priority

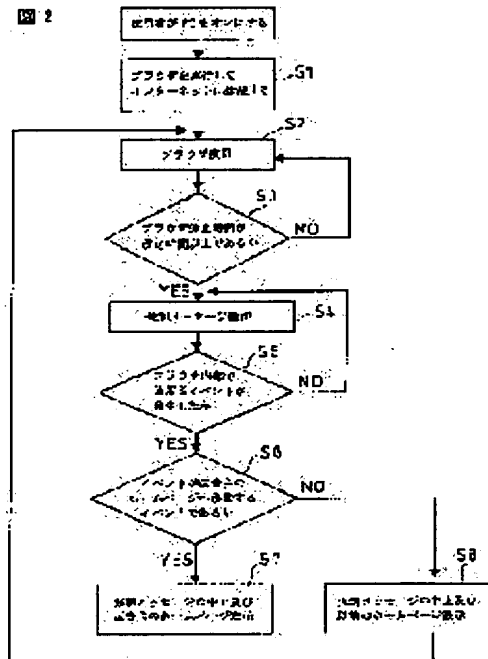
Priority number : 1999 9945352 Priority date : 19.10.1999 Priority country : KR

(54) ADVERTISEMENT DISPLAY METHOD OF WEB BROWSER HAVING SENSED QUIESCENT STATE OF USER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an advertisement display method of a Web browser having sensed a quiescent state of a user, which improves advertisement effect by letting the user concentrate on an advertisement by displaying the advertisement contents on the whole or part of the screen of the Web browser without allocating an advertisement area on an original homepage.

SOLUTION: The method comprises a break state time judgment stage for judging whether a break state wherein a user neither moves a mouse nor does input on a keyboard lasts for a time set on an Internet server in the window of a Web browser displaying a specific homepage of a server in the Internet environment, an advertisement display stage for displaying a background picture entirely or partially in the window of the Web browser and displaying advertisement contents on the background picture when the break state lasts for the set time, and an advertisement display quitting stage for interrupting the display of the advertisement contents and background picture and displaying the homepage corresponding to a user's event in the window of the Web browser when the event occurs.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 08.06.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 11.03.2003

[Kind of final disposal of application other than

the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-118006

(P2001-118006A)

(43)公開日 平成13年4月27日 (2001. 4. 27)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6
	Z E C		Z E C
	5 0 2		5 0 2
3/00	6 5 6	3/00	6 5 6 A
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 P
審査請求 有 請求項の数10 O L (全 9 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2000-171644(P2000-171644)

(22)出願日 平成12年6月8日(2000.6.8)

(31)優先権主張番号 4 5 3 5 2 / 1 9 9 9

(32)優先日 平成11年10月19日(1999. 10. 19)

(33)優先権主張国 韓国 (K R)

(71)出願人 500268683

ユー ウン ヤン

大韓民国, ソウル, カンナンーク, アプグ
ーチュンードン, ヒュンダイ アパートメ
ント 92-605

(72)発明者 ユー ウン ヤン

大韓民国, ソウル, カンナンーク, アプグ
ーチュンードン, ヒュンダイ アパートメ
ント 92-605

(74)代理人 100077517

弁理士 石田 敬 (外4名)

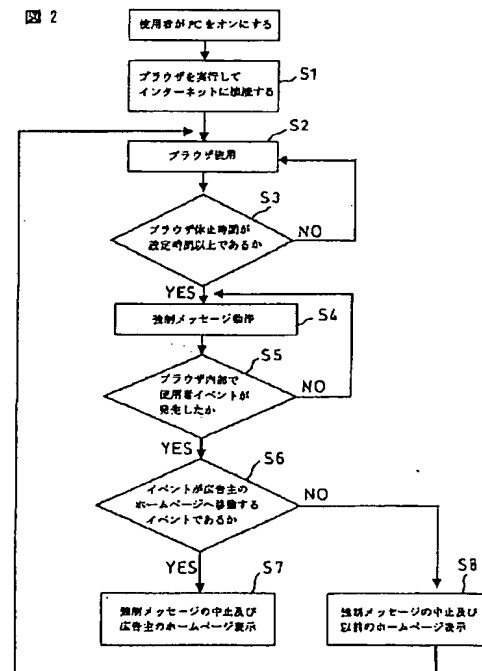
(54)【発明の名称】 使用者の休止状態を感知したWebブラウザの広告表示方法

(57)【要約】

【課題】 本来のホームページ上には広告領域を割当てずWebブラウザの全面又は一部に広告内容を表示することで使用者を広告に集中させ広告効果を向上する使用者の休止状態を感知したWebブラウザの広告表示方法を提供する。

【解決手段】 インターネット環境でサーバーの特定ホームページを表示するWebブラウザの窓内部で、使用者のマウスの動き若しくはキーボードの入力がない休止状態がインターネットサーバー上で設定された時間の間持続されるかを判断する休止状態時間判断段階と、休止状態が設定時間の間持続すると、Webブラウザの窓の全面又は一部に背景画面を表示すると共に、背景画面上に広告内容を表示する広告表示段階と、使用者のイベントが発生すると、広告内容及び背景画面の表示を中断し、イベントに該当するホームページをWebブラウザの窓に表示する広告表示中止段階とで構成する。

図 2



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット環境でサーバーの特定ホームページを表示する使用者のWeb ブラウザの窓内部で、使用者のマウスの動き若しくはキーボードからの入力がない休止状態が、インターネットサーバー上で設定された時間の間持続されたか否かを判断する休止状態時間判断段階と、

前記休止状態が設定時間の間持続されると、前記Web ブラウザの窓の全面又は一部に背景画面を表示すると共に、該背景画面上に広告内容を表示する広告表示段階と、

使用者からのイベントが発生すると、前記広告内容及び背景画面の表示を中止し、前記イベントに該当するホームページをWeb ブラウザの窓に表示する広告表示中止段階と、

を順次行うことを特徴とする使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【請求項2】 前記広告表示中止段階は、使用者によるキーボードの押し、Web ブラウザの窓内部でのマウスの動き、Web ブラウザの窓のサイズ変化、またはWeb ブラウザー内部のスクロールなどのイベントが発生したかを判断し、イベントが発生していないときは、前記広告表示段階を維持するイベント発生判断段階と、

該イベント発生判断段階でイベントが発生したと判断すると、該イベントが広告主のホームページへ移動するイベントか、若しくは、広告表示段階以前にWebブラウザに表示された特定ホームページを再び表示するイベントか、を判断するイベント種類判断段階と、

前記イベント種類判断段階の判断結果、前記広告表示段階以前にWeb ブラウザに表示されたホームページを表示するイベントのとき、前記広告内容及び背景画面の表示を中止して前記休止状態時間判断段階に戻る以前ホームページ表示段階と、

前記イベント種類判断段階の判断結果、広告主のホームページへ移動するイベントと判断すると、前記広告内容及び背景画面の表示を中止して広告主のホームページに移動する広告主ホームページ表示段階と、

を順次行うことを特徴とする請求項1記載の使用者の休止状態を感知したWebブラウザの広告表示方法。

【請求項3】 前記イベント種類判断段階は、キーボードの押しが検出されると、広告主のホームページへ移動するイベントであると判断し、一方、Web ブラウザの窓内でマウスの動きが検出されると、前記広告表示段階以前に表示されたホームページを再び表示させるイベントであると判断することを特徴とする請求項2記載の使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【請求項4】 前記休止状態時間判断段階、広告表示段階及び広告表示中止段階は、

Web ブラウザが接続したサーバーが、特定ホームページを構成するファイルに付加して、Web ブラウザの休止状態時間とホームページの設定時間とを比較する機能、その比較結果によって広告内容をWeb ブラウザの窓の全面又は一部分に表示する機能、イベントの発生を感知して広告内容の表示を中断する機能、及び、広告主のホームページへ移動する機能、を全て包含する強制メッセージを、前記Web ブラウザと一緒に伝送することによって動作されることを特徴とする請求項1記載の使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【請求項5】 前記広告内容は、テキスト、静的イメージファイル、動的イメージファイル、ショックウエーブまたはサウンドにより実現されることを特徴とする請求項1記載の使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【請求項6】 前記広告内容は、Web 上で表現できる全てのコンテンツを包含することが可能で、前記Web ブラウザの窓内部の特定位置に固定させて表示するか、または、該Web ブラウザの窓内で任意の方向に移動し得ることを特徴とする請求項1記載の使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【請求項7】 前記背景画面及び広告内容は、Web ブラウザ内部が現在表示している文書の位置状態、即ち、上下左右にスクロールされた状態に拘わらず、文書の如何なる部分からも動作することが可能で、活性化された窓の大きさに関係なく動作され、更に、Web ブラウザが非活性化されたバックグラウンド状態でも動作されることを特徴とする請求項1記載の使用者の休止状態を感知したWebブラウザの広告表示方法。

【請求項8】 前記広告表示段階は、背景画面は表示しない状態で、Web ブラウザのスクロールされた状態、活性化された窓の大きさ及び非活性化された窓のバックグラウンド状態に拘わらず、広告内容のみがWeb ブラウザ内部の任意の位置に生成、消滅及び移動することの特徴とする請求項1記載の使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【請求項9】 前記任意に生成及び消滅される広告内容は、使用者のマウス押しを感知したとき、広告主のホームページに移動することを特徴とする請求項8記載の使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【請求項10】 前記広告表示段階中、背景画面にテキスト形態の広告メッセージまたはイメージ形態の広告を挿入し得ることを特徴とする請求項1記載の使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法に係るもので、詳しくは、使用者がWeb ブラウザを使用しないとき、例

えば、Web ブラウザで特定ホームページに接続した後、所定時間の間、マウスの動き若しくはキーボードからの入力がないときに、Web ブラウザの窓の全面または該全面に準ずる大きな広告を表示して画面全体を広告表示画面として使用することによって、既存の如何なるWeb 広告技法よりも広い広告画面を割り当てて、一層強力な広告を行い得る使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】最近、急増しているインターネットによる広告は、インターネットを介して通信販売を行うなど、商業的な利用価値があると共に広告効果も高いため、殆どのインターネットホームページには絵ファイル（拡張子：jpg、gif）、若しくは、動く絵ファイル等を利用した多様な広告が包含され、広告主のホームページに連結されるようになっていて、一例として、新聞社のホームページ（www.chosun.com）には、メインページに20余りを超える広告が載せられ、各サブページにも広告が載せられている。

【0003】一般のインターネットにおいて、Web サーバー（以下、サーバーと称す）とクライアントWeb ブラウザ（以下、Web ブラウザと称す）間のデータ伝送方法においては、図7に示したように、Web ブラウザ上で特定ホームページの住所を入力するか、若しくは、特定ホームページで広告などのリンクをクリックすると（ステップ10）、使用者のWeb ブラウザでは要請ヘッダーを発生すると共に、該要請ヘッダーをサーバーに伝送する（ステップ30）。

【0004】次いで、前記Web ブラウザから要請ヘッダーを印加されたサーバーでは、該要請を解析して承認し（ステップ20）、該サーバーのハードディスクに貯蔵されているホームページファイルをアクセスして（ステップ40）、前記要請ヘッダーを伝送したWeb ブラウザに要請されたホームページファイルを伝送する（ステップ50）。

【0005】次いで、ホームページを構成するファイルを前記サーバーから伝送されたWebブラウザは、それらファイルを画面上に表示する。このように構成されるインターネット上における従来の広告技法は、サーバーから伝送されたホームページの原文の一部分に簡単な広告メッセージを挿入し、使用者が該当の広告をクリックすると、広告主のホームページへ使用者を誘引するようになっている。そこで、使用者の注目を集めるために、広告文句を動く内容形態に作成して華やかに見せるか、または、サブページなどでも同一位置に同一広告を配置するなど、多様な顧客誘因方法が工夫されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】然るに、このような従来のWeb ブラウザの広告表示方法においては、使用者の立場では、散漫に配列された広告の中から所望のリンク

を探索する必要があるため、極めて面倒であり、一方、広告主の立場では、複数の広告が競争して表示されるため、使用者の集中力が低下して広告効果が低下され、また、特定ホームページの運営者の立場では、限られたホームページ空間中、相当部分を広告空間として割り当てるようになるため、自分たちの表現領域が狭くなる、という不都合な点があった。

【0007】また、ホームページの下方端に広告内容を位置させる従来の方法を利用すると、使用者が広告に注目しないなど、位置を固定させることによって広告効果が低下するという不都合な点があった。本発明は、このような従来の課題に鑑みてなされたもので、本来のホームページ上には広告領域を割り当てせず、Web ブラウザの全面又は一部に広告内容を表示することによって、使用者が広告に集中するように誘導して、広告効果を向上し得る使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成するため、本発明に係る使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法においては、インターネット環境でサーバーの特定ホームページを表示するWeb ブラウザの窓内部で、使用者のマウスの動き若しくはキーボードからの入力がない休止状態が、インターネットサーバー上で設定された時間の間持続されるかを判断する休止状態時間判断段階と、前記休止状態が設定時間の間持続されると、前記Web ブラウザの窓の全面又は一部に背景画面を表示すると共に、該背景画面上に広告内容を表示する広告表示段階と、使用者のイベントが発生すると、前記広告内容及び背景画面の表示を中止し、前記イベントに該当するホームページをWeb ブラウザの窓に表示する広告表示中止段階と、を順次行って構成されている。

【0009】そして、前記広告表示中止段階は、使用者によるキーボードの押し、Web ブラウザの窓内部でのマウスの動き、Web ブラウザーの窓のサイズ変化、またはWebブラウザ内部のWeb ページの上下左右移動であるスクロールなどのイベントが発生したかを判断し、イベントが発生していないときは、前記広告表示段階を維持するイベント発生判断段階と、該イベント発生判断段階でイベントが発生したと判断されると、該イベントが広告主のホームページへ移動するイベントか、若しくは、広告表示段階以前にWeb ブラウザに表示された特定ホームページを再び表示するイベントか、を判断するイベント種類判断段階と、その判断結果、前記広告表示段階以前にWeb ブラウザに表示されたホームページを表示するイベントであるとき、前記広告内容及び背景画面の表示を中止して前記休止状態時間判断段階に戻る以前ホームページ表示段階と、その判断結果、広告主のホームページへ移動するイベントであると判断すると、前記広告内容及び背景画面の表示を中止して広告主のホームページ

へ移動する広告主ホームページ表示段階と、を順次行って構成される。

【0010】且つ、前記イベント種類判断段階は、キーボードの押しが検出されると、広告主のホームページへ移動するイベントであると判断し、一方、Webブラウザの窓内でマウスの動きが検出されると、前記広告表示段階以前に表示されたホームページを再び表示させるイベントであると判断することを特徴とする。また、前記休止状態時間判断段階、広告表示段階及び広告表示中止段階は、Webブラウザが接続したサーバーで、特定ホームページを構成するファイルに付加して、Webブラウザの休止状態時間とホームページの設定時間とを比較する機能、その比較結果によって広告内容をWebブラウザの窓の全面又は一部分に表示する機能、イベントの発生を感じて広告内容の表示を中断する機能、及び、広告主のホームページへ移動する機能、を全て包含する強制メッセージを、前記Webブラウザに使用者が要請したホームページファイルと一緒に伝送することによって動作することを特徴とする。

【0011】ここで、前記強制メッセージとは、インターネット使用者の意志とは関係なく、Webブラウザが接続したサーバーからWebブラウザに人為的に伝送されるデータを意味するもので、使用者が要請したHTML原文を除いた部分であって、本発明を実現し得るように作成されたファイルである。更に、前記広告内容は、テキスト、静的イメージファイル、動的イメージファイル、ショックウエーブまたはサウンドにより実現され、前記広告内容は、Web上で表現できる全てのコンテンツを包含することが可能で、前記Webブラウザの窓内部の特定位置に固定させて表示するか、または、該Webブラウザの窓内で任意の方向に移動し得ることを特徴とする。

【0012】そして、前記背景画面及び広告内容は、Webブラウザ内部が現在表示している文書の位置状態、即ち、上下左右にスクロールされた状態に拘わらず、文書の如何なる部分からも動作することが可能で、活性化された窓の大きさに関係なく動作し、更に、Webブラウザが非活性化されたバックグラウンド状態でも動作することを特徴とする。

【0013】且つ、前記広告表示段階は、背景画面は表示しない状態で、Webブラウザのスクロールされた状態、活性化された窓の大きさ及びバックグラウンド状態に関係なく、広告内容のみがWebブラウザ内部の任意の位置に生成、消滅及び移動することを特徴とする。更に、前記任意に生成及び消滅される広告内容を、使用者のマウス押しを感じたとき、広告主のホームページに移動することを特徴とする。

【0014】且つ、前記広告表示段階中、背景画面にテキスト形態の広告メッセージまたはイメージ形態の広告を挿入することもできる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を用いて説明する。本発明に係る使用者の休止状態を感じたWebブラウザの広告表示方法を実現するためにWebサーバー（以下、サーバーと称す）とクライアントWebブラウザ（以下、Webブラウザと称す）間のデータ伝送過程については、図1に示したように、使用者がWebブラウザを実行して、特定ホームページの住所を入力窓に入力するか、特定リンクをクリックすると（ステップ10'）、Webブラウザは該住所に該当するサーバーにホームページ要請信号を伝送する（ステップ30'）。

【0016】次いで、前記Webブラウザから要請信号を伝送されたサーバーは、該要請信号を許可し（ステップ20'）、ホームページを構成するファイルと共に広告内容ファイルを含む強制内容を前記要請信号を伝送したWebブラウザに伝送する（ステップ40'）。このとき、前記強制メッセージには、使用者がWebブラウザを使用しない時間を検査すると共に、Webブラウザの窓の大きさなどを検査する命令、及び、前記Webブラウザが設定時間の間休止状態であるとき、前記強制メッセージに包含された広告を前記検出されたWebブラウザの窓の大きさに応じて表示する命令、が包含されている。このような動作の詳しい内容については後述する。

【0017】次いで、前記Webブラウザは、前記強制メッセージを除いてホームページを構成するファイルを画面上に表示して、前記サーバーが提供するホームページをWebブラウザ上に表示させる。このように前記強制メッセージに包含された設定時間の間、Webブラウザを介した検索がない場合、前記Webブラウザの現在窓の大きさに応じた広告が表示され、使用者の選択によって、以前に表示されていたホームページに移動するか、または、前記広告が指定するホームページ（広告主のホームページ）へ移動することができる。

【0018】そして、本発明に係る使用者の休止状態を感じたWebブラウザの広告表示方法においては、図2に示したように、使用者がPCをオンし、Webブラウザを実行してインターネットに接続するインターネット接続段階（S1）と、前記Webブラウザを利用して特定ホームページに接続し、情報を検索するWebブラウザ使用段階（S2）と、前記Webブラウザ使用段階で、休止状態が設定時間よりも大きいかなかを検出する休止状態時間判断段階（S3）と、休止状態時間が前記設定時間よりも大きいとき、前記表示されていたホームページを背景画面により遮って、該背景画面上に広告を表示する強制メッセージ実行段階（S4）と、前記Webブラウザの内部で使用者のキーボード押し、または、マウスの動き等のイベントが発生したかなかを判断し、イベントの発生がないとき、前記強制メッセージ実行段階を維持させるイベント発生判断段階（S5）と、前記イベント発生判断段階でイベントが発生したと判断されると、該イベントが前記強

制メッセージ実行段階で表示された広告が指定するホームページ（即ち、広告主のホームページ）へ移動するイベントであるか否かを判断するイベント種類判断段階（S6）と、該イベント種類判断段階で、イベントの種類が広告主のホームページへ移動するイベントであるとき、前記強制メッセージの実行を中断すると共に広告主のホームページへ移動する広告主のホームページ表示段階（S7）と、前記イベント種類判断段階でイベントの種類が前記広告主のホームページへ移動するイベントでないとき、前記強制メッセージの実行を中断して、広告が表示される以前のホームページをWebブラウザ上に表示させ、前記Webブラウザ使用段階に戻る以前ホームページ表示段階（S8）と、を順次行うように構成されている。

【0019】以下、このような本発明に係る使用者の休止状態を感知したWebブラウザの広告表示方法について、図面を用いて詳しく説明する。まず、使用者がWebブラウザを使用してインターネットに接続すると、図1に示したサーバーとWebブラウザ間のデータ伝送方式に従って、サーバーはWebブラウザから要請されたホームページ構成ファイルと共に強制メッセージを前記Webブラウザに伝送し、該Webブラウザは、使用者が確認できるように前記ホームページを窓に表示する。

【0020】すると、使用者は、前記Webブラウザに表示されたホームページから情報を得て次のリンクに移動する等のWebブラウザ実行段階を実行する。ここで、使用者が前記Webブラウザを使用してサーフィンを行う途中、他のページに移動せずに、所定時間の間、前記Webブラウザの窓からマウスを動かさないか、若しくはキーボードを押さない休止状態が持続すると、該休止状態時間と設定された時間とを比較し、前記休止状態時間が設定時間よりも大きいとき、前記伝送された強制メッセージをWebブラウザ上に表示する。

【0021】このような本発明に係るWebブラウザの広告表示方法を実現するためのダイナミックHTMLソースは、多様な方法により構成することができる。好ましい実施例として、使用者のWebブラウザの種類を判断する部分と、休止状態時間を検査し、該休止状態時間が設定時間以上であるとき、背景画面により前記Webブラウザに表示されるホームページを覆い、該背景画面に広告内容を表示して、使用者の目には特定色、若しくは、特定模様を背景にして広告内容のみが写るようにする部分と、イベントの発生及び種類を検査し、イベントの種類によって前記広告内容及び背景画面を除去して、以前に表示されたホームページまたは広告主のホームページへ移動する部分、広告内容の移動距離及び移動速度を決定する部分、などにより構成することができる。

【0022】そして、図3は、前記強制メッセージの実行により表示される広告の例を示した図で、現在Webブラウザの窓に表示されているホームページ60の上部を特

定背景画面70により遮って、該背景画面70の上部に広告内容80を表示させる形態であり、このときの前記背景画面70は、広告内容80を適切な色に決定することが可能で、ここで、前記広告内容は、テキスト、単純な内容ファイル、動く内容ファイルまたはショックウェーブ等の多様な形態により表示することが可能で、その位置においても、Webブラウザの窓の特定位置に固定させるか、使用者の注意を惹くために特定方向に移動する形態に指定することができる。

【0023】このようにWebブラウザの休止状態が所定時間継続する状態で、Webブラウザの窓の全面又は一部を利用して広告内容を表示する方法は、ホームページ上に直接広告ファイルを挿入して広告する従来の方法に比べて、動くファイル等固定した形態ではなく、Webブラウザの窓の全面若しくは一部を利用して使用者の注意を惹く多様な形態に表現することができるため、広告の効果が一層増大される。

【0024】次いで、上述したように強制メッセージの実行により広告が表示されている状態で、使用者がWebブラウザを再び使用するためにマウスをWebブラウザの窓の内部で移動させると、前記強制メッセージの実行を中断し、前記図3における広告内容80及び背景画面70を除去して、前記強制メッセージが実行される以前のホームページを表示する。

【0025】このとき、前記表示されていた広告内容80の広告効果を向上させるために、特定イベントを入力すると前記広告主のホームページへ直接移動することが可能であるべきで、そのために、キーボードの任意のキーを押すと、前記広告内容80及び背景画面70を表示していた強制メッセージの実行は中断され、前記広告内容80と関連する広告主のホームページへ移動するようになる。

【0026】なお、図4～図6は、前記図3の各構成要素を詳しく示した図で、特定ホームページの休止状態時間が設定時間以上となり、強制メッセージが実行されて広告内容が表示されている状態で、キーボードの特定キーを押して広告主のホームページへ移動する過程をコンピュータで画面キャプチャーした図である。まず、図4に示したように、USATODAYのホームページに接続して新聞を読んでいる途中で、Webブラウザの窓でのマウスの移動がない休止状態が設定時間の間継続されると、強制メッセージが実行されるため、図5に示したように、背景画面が前記USATODAYのホームページを遮り、その上面に自動車会社の広告内容を表示し、使用者がキーボードの任意のキーを押すと、図6に示したように、自動車会社のホームページをWebブラウザの窓に表示する。

【0027】このとき、もし、使用者がキーを押さずに、他のイベント、例えば、マウスを前記Webブラウザの窓内部で移動させる場合は、前記図4に示したUSATODAYのホームページを再び表示するようになる。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係る使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示状態においては、広告媒体であるホームページ運営者側の立場では、広告主のバナー（banner）のための別途の空間を割り当てする必要がないため、自社の内容を表現する空間を十分に確保することが可能で、広告主の立場では、ブラウザ全面を広告領域として活用することができるため、多様な広告技法を利用して広告効果を向上し得る機会が提供され、また、使用者の立場では、単一の大型広告を観覧するため、散漫に配列された広告の中から所望の広告リンクを探索する手間を減らすことが可能で、更に、広告に対する集中力が向上するという効果がある。

【0029】且つ、ホームページの運営者は、広告をリンクして自分のホームページから抜け出す接続者の数を減らすことが可能で、複数の広告表示を排除して接続者の集中力を向上させて広告効果を向上し得るという効果がある。

【図面の簡単な説明】

*【図1】本発明を実現するためのインターネットにおけるWeb サーバーとクライアントWeb ブラウザ間のデータ伝送過程を示した模式図である。

【図2】本発明に係る使用者の休止状態を感知したWeb ブラウザの広告表示方法を示したフローチャートである。

【図3】強制メッセージを実行することにより表示される広告を示した模式図である。

【図4】図3において、特定ホームページをコンピュータで画面キャプチャーした図である。

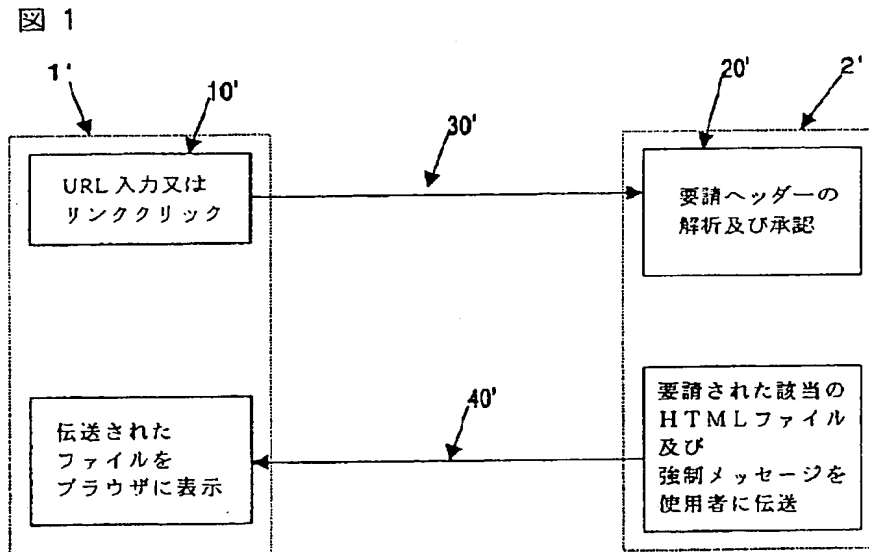
【図5】図3において、広告内容をコンピュータで画面キャプチャーした図である。

【図6】図3において、イベントの発生により移動した広告主のホームページをコンピュータで画面キャプチャーした図である。

【図7】一般のインターネットにおいて、Web サーバーとクライアントWeb ブラウザ間のデータ伝送を示した模式図である。

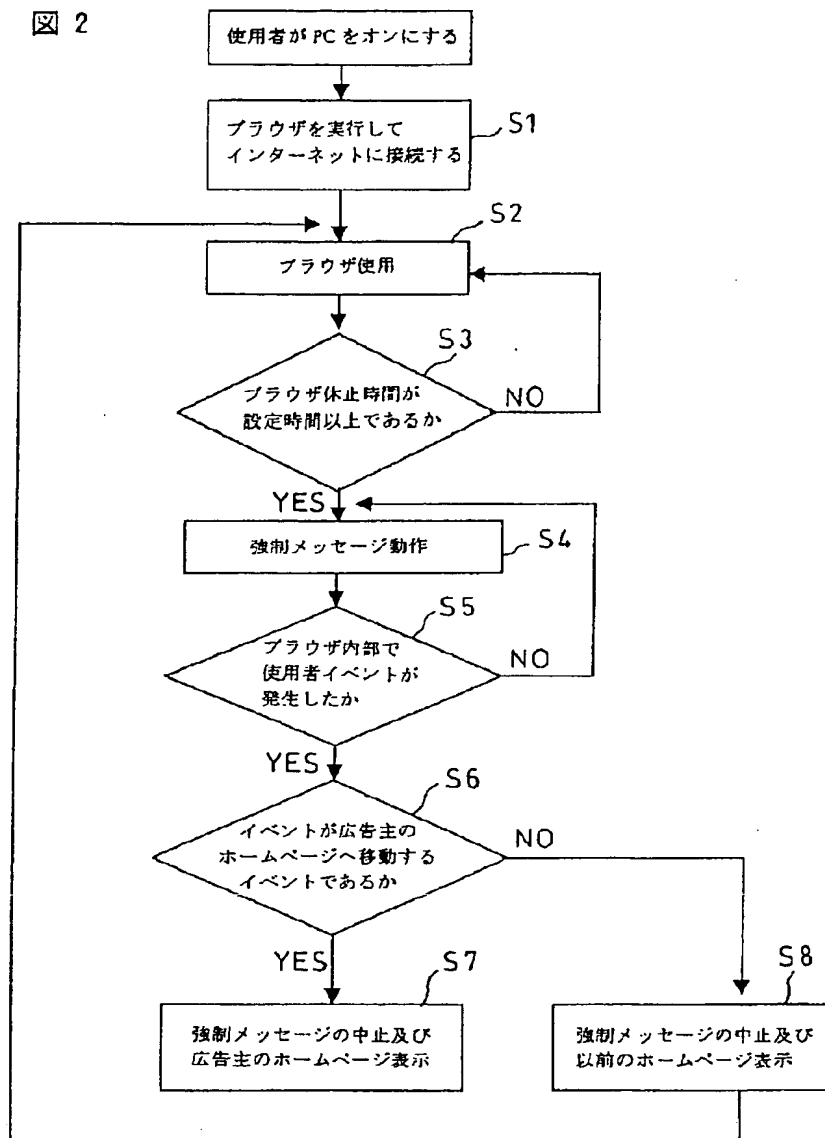
*

【図1】



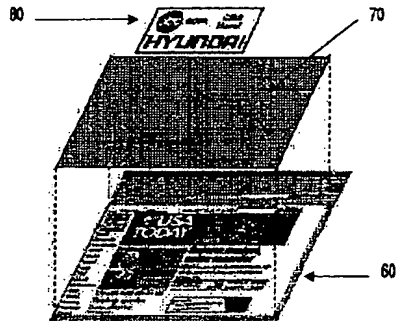
【図2】

図 2



【図3】

図 3



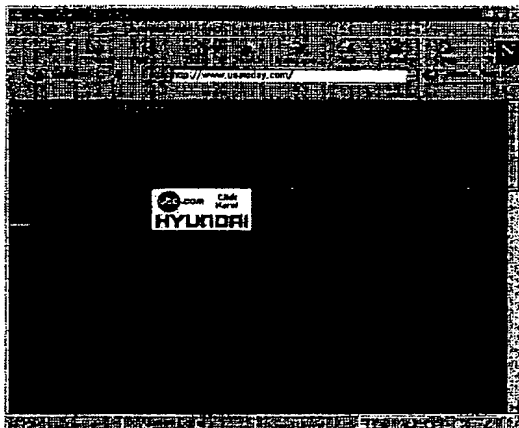
【図4】

図 4



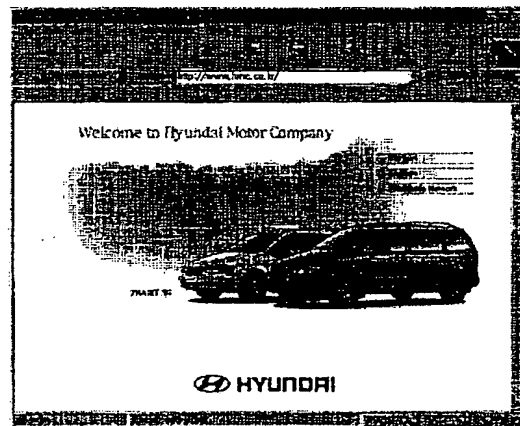
【図5】

図 5

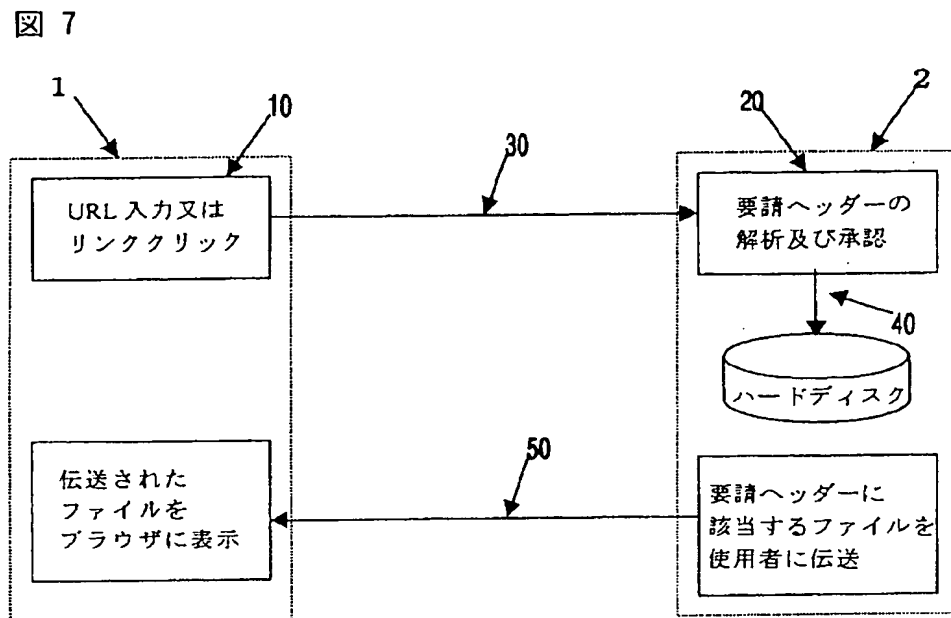


【図6】

図 6



【図7】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/30

識別記号

1 7 0

F I

G 0 6 F 17/30

テーマコード (参考)

1 7 0 Z